



# れんごう下越

日本労働組合総連合会新潟県連合会・下越地域協議会  
957-0054 新発田市本町 1-1-6 総合生協会館内  
TEL0254-26-3705 FAX0254-26-0556

第 105 号  
2014.11.15  
発行人  
小林 久志  
1部5円  
購読料は会費に  
含  
En la union  
Esta la  
fueraza  
団結こそ力

## ディーセントワーク世界行動デー「10.15新潟集会」



毎年、各地協で開催されている「STOP THE 格差社会！」キャンペーンディーセントワーク世界行動デー「10.15新潟集会」が新発田市カルチャーセンター前で開催されました。集会には各産別・下越地協の組合員 192 名が集結し、主催者として連合新潟齋藤会長から「今、働きがいのある仕事をしていますか？職場で問題はありませんか？労働者の尊厳や権利を守り、働く意欲を与えることがディーセントワークです」と挨拶がありました。その後、リレートーク、集会アピール、貧困の解消、格差是正に向けて連合新潟全体の意志を込め「スタンド・アップ・テイク・アクション」を行いました。アピールウォークでは、新発田商店街にて市民にアピールコールで訴えました。



STOP THE 格差社会!

## 労働者保護ルール改悪阻止



連合は「生涯派遣で低賃金を払拭」「残業代 NO より過労死ゼロ」をスローガンに掲げた労働者保護ルール改悪阻止に取り組む、STOP THE 格差社会！「全国縦断アピールリレー」を行い運動の輪を広げ、安心社会の実現を訴えています。東コースは北海道、西コースは沖縄を起点とし、全 47 都道府県にタスキをバトンし、ゴールの東京を目指しています。連合新潟は連合福島と東コースにて 10 月 21 日の 10 時 30 分東蒲原の県境で合流しました。連合下越から久志田事務局長も駆けつけ、阿賀町役場前、道の駅「阿賀の里」、阿賀野市役所前で街宣しました。15:00 から、新潟県庁前で引継セレモニーを行い、それぞれのお国言葉メッセージをアピールし、新潟駅までタスキリレーを行いました。22 日、23 日は新潟市内の要所を周り、24 日に連合富山に引き継ぐまで、新潟市内を街宣行動中心にアピールしました。

食と環境現地視察  
「米粉のまちたいない」で工場見学  
ランチを楽しみました。

合下越地協では、食や環境問題に取り組んでいます。10月18日に「米粉のまちたいない」で工場見学・ランチを楽しみました。新潟県は小麦消費の10%を米粉に置き換えることを目的として「R10プロジェクト」という名称で食糧自給率向上を進めています。今回、胎内市の「小国製麺」（米粉製品製造）の工場見学では、齋藤常務から小国製麺の製品の説明を受け、日本を代表する米、新潟コシヒカリの米粉と北海道産小麦をブレンドした生パスタを試食しました。その後「ロイヤル胎内パークホテル」で米粉を使用したランチを試食し、温泉に入り楽しい一日を過ごしました。参加者は大人24名子供7名でした。ご参加ありがとうございました。



第24回下越地協青年女性委員会総会

日時 12月6日(土)午後15時00分より  
会場 新潟駅南口プラカ3  
「KENTO」  
議題 ①2014年度経過報告  
②2015年度活動方針  
③2015年度役員体制

\*総会終了後研修会を開催致します。  
テーマ：『人を惹き寄せるコミュニケーション』  
講師：なぐも友美  
「にいがた観光カリスマ」のおもてなしインストラクター  
\*総会・研修会終了後、忘年会（懇親会）  
青年・女性の参加をお待ちしています。

新発田支部第3回ソフトボール大会



10月25日(土)「第3回新発田支部ソフトボール大会」を開催しました。連合新潟のスローガンである運動への「参加」を基に、組合役員だけでなく交流の場を提供する活動及び日頃の運動不足解消の場となりました。参加者は60名、参加チームは「北興化学労組」「日本海LNG労組」「新教組下越支部」「日本ケミコン労組」の4チームでした。北興化学工業株式会社のご協力により新潟工場グラウンドを使用させていただきました。試合は4チーム総当たりのトーナメントで各チーム3試合を行いました。参加者の中には腕に覚えがある方が多く、白熱した試合が見られました。スポーツで地域の働く仲間が集う事の素晴らしさを感じました。今年の優勝チームは「北興科学労組」でした。

青年女性委員会ボウリング大会



11月1日(土)恒例の地協青年女性委員会のボウリング大会を「ラウンドワン新潟」で開催しました。参加者56名单組混合14チームでゲームを行いました。ストライクやスペアーが出るたびに、ハイタッチや大きな歓声が会場に響きました。懇親会では、自分の仕事内容や会社の製品等を紹介し、大いに盛り上がりました。